Japan International Open Water Swimming Association

オープンウォータースイムレース

2010年１月

日本国際オープンウォータースイミング協会

オープンウォータースイムレースとは

オープンウォータースイムレースとは
大自然をフィールドとした水泳競技の総称です。

オープンウォータースイムレースの定義

•オープンウォータースイムレースとは、自然の海や湖・川等で行なわれるレースの総称です。

•プールでの競技と異なり、自然の中で行なわれる競技なので、体力やテクニックはもちろん、海流や水流などを意識して進路を泳いで行く難しさがオープンウォータースイムレースの魅力のひとつです。

•若年層から高年齢まで幅広い層が参加する為、ルールは年齢別に行い、それぞれが自分のペースで泳ぐことを心がけ、自然との触れ合いの中で、健全な心と身体の育成を行なうことを目的とします。

海外事情

アメリカをはじめ豪州・ヨーロッパなどでは すでに人気の高いスポーツです。

- オープンウォータースイムレースは欧米や豪州などではすでに人気スポーツとして定着し、シーズン中毎週世界のビーチでは競技が開催されている。米国を例にとっても毎年400を超えるレースが展開されており、その人気の程がうかがえる。

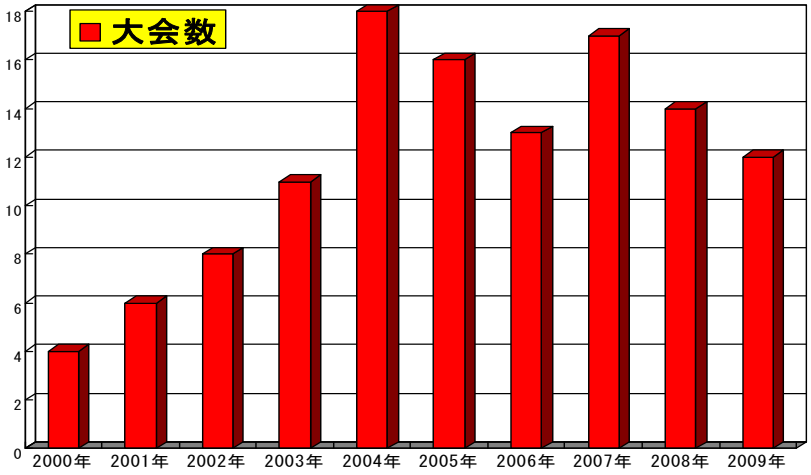
- 主な海外レース

[米国]
マンハッタンチャンネルスイム（ニューヨーク）
カタリナアイランドスイムマラソン（ロスアンジェルス）
ホノルルラフウオータースイム（ハワイ）
テイブロンマイルレース（サンフランシスコ）
[オーストラリア]
シドニークラシックスイム（シドニー）
オーストラリアスイムマラソン選手権（ゴールドコースト）
[ヨーロッパ]
ドーバー海峡横断スイム（イギリス）
ナポリスイムマラソン（イタリア）
レマン湖スイムカーニバル（スイス）

国内の現況

国内でも各地で開催され、参加選手も年々拡大、全国的なブームの兆しが見えてきてます。

- 2000年全国4大会からスタートしたオープンウォータースイムレースは2009年全国12会場にて公式シリーズ戦が開催され、海外2大会も提携大会として実施されています。



国内参加者の特徴

全国から老若男女のスイマーが集い、生涯スポーツにふさわしい大会になっています。

- 年代は10代から70歳代まで幅広い年齢層の選手が参加。年代別のカテゴリーに分かれ、自分のペースを守って成績を競っています。

- 参加選手は日々、スポーツクラブやスイミングクラブで厳しいトレーニングを積む人だけでなく、トライアスリートや体力増進のために走ったり泳いだりしている方々など水泳を愛し、自然を愛する多方面の人々が集まっている。

競技概要

大自然を相手に日頃のトレーニングの成果を競うスポーツ
”勇気”と”耐久力”で完泳を目指す個人種目、
仲間との”連帯感””協調性”が大切な団体種目があります。

- 現在国際水泳連盟公認の種目として5km・10km・ 25kmがあります。それを受けて日本水泳連盟ではジャパンオープン館山で5km・10kmレースを開催しています。
- 協会では市民レースとして初心者を対象とした400mから最長5kmまでの各種レースを大会ごとに実施しております。
- 団体種目の特徴は男女を問わず4人の合計年齢で行われる点です。
- （例）119歳以下・120～159歳・160~199歳・200~239歳・240歳以上

ブームの背景

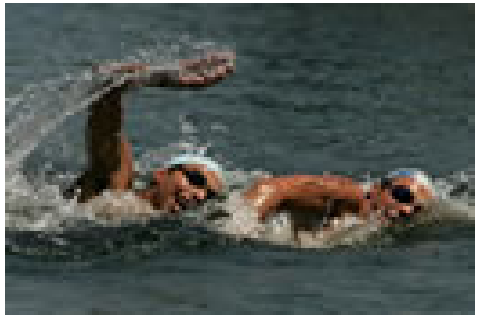
四方を海に囲まれた豊かな自然をもつ我が国では、今後ますます多くの人々の関心を集めて拡大することでしょう。

- 昨今の健康ブームの中、水泳が大変人気の大会スポーツになっているのは周知の事実です。
- しかしプールでの大会は、水泳を「楽しむ」より「競技嗜好」「タイム記録」にかたよりがちで本来のスポーツを楽しむ心が薄れています。
- 他方、地球環境への関心が高まり、自然志向が一層進む我が国では、四方を海に囲まれている日本の特徴から大自然の中でのびのびと楽しく泳ぐオープンウォータースイミングは一層人々の関心を集めることでしょう。

ブームの背景その2

2008年北京オリンピックにおいて、待望の正式水泳競技種目となりました。

- 競泳・シンクロ・水球・飛び込みそしてオープンウォータースイミングの5種目が国際水泳連盟FINAの公認種目です。



地球環境を考える

自然環境の下で行われるオープンウォータースイミングは、地球環境を考え、参加者が環境についての意識改革を行うかっこうのスポーツである。まさしくスポーツと環境のコラボレーションイベントである。

- 2003年から国土交通省港湾局の後援事業として日本を海を考え、港湾のあり方、ビーチスポーツのあるべきかたち等を一般市民レベルの利用者側からの提言を行い活動しています。
- 文部科学省や国土交通省の推進する環境教育の具体例なモデルとして評価を受け、学校教育の中の水泳指導においても新しい方向性を見出すきっかけとして今後ますます普及してゆくことでしょう。
- 全国の海をもつ地方都市との協働事業により参加者誘致を含め地域活性化に寄与しています。

協会の基本的考え

オープンウォータースイミングを通じて自然環境に配慮し、自然との調和を図ると共に人々の「安全と健康」を提供する。

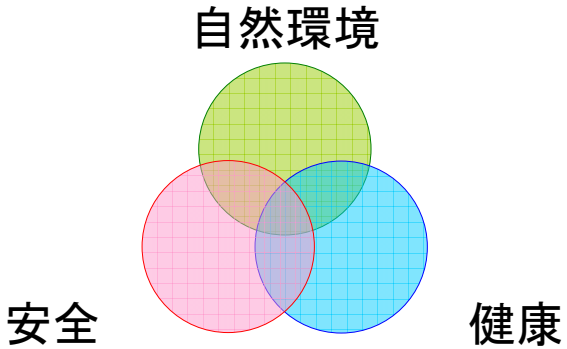
Our Mission is to deliver their health and safety to any open water swimmer; to consider the nature in harmony through open water swim events.

- 自然環境問題に対して、これを保全したり、再生・創生に向けた解決策が『規制・技術・意識の改革』の3つの方法があると言われます。そのための教育的活動としての環境教育があり、2003年10月から「環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律」が施行されました。

- 私どもは海や・川・湖などのオープンウォーターでスイムレースを実施し、それらの活動を通して『自分たちを取り巻く環境の問題に気が付いて何らかのアクションを起こす人を増やしてゆきたい』と考えます。

- そのために、できるだけ多くの場でこの自然の素晴らしさを身体で体験し、知っていただく機会を提供することが私どもの責任と認識し、「日本国際オープンウォータースイミング協会」の名称にちなんで日本各地でオープンウォータースイムレースを開催してゆく。

- そして多くの皆様にその自らの『海辺の自然体験活動』を通して、考え、行動し、そして次世代の子供たちにこの地球のかけがえのない自然環境を伝えて行くことを願っています



7 Water's Movement

日本国際オープンウォータースイミング協会（JIOWSA）は
地球環境を考え、7 Water's Movementの理念を提案し、
具体的アクションプランとして”7つの行動指針”を掲げ行動します。

“7つの行動指針”

- 海を泳ごう
- 海を語ろう
- 海を知ろう
- 海を楽しもう
- 海を敬おう
- 海を綺麗にしよう
- 海と友達になろう